

令和3年2月15日

江南市長 澤田 和延 様

江南市下水道事業経営戦略策定委員会
会長 横山 幸司

江南市下水道事業の経営のあり方に関する意見について（案）

江南市下水道事業経営戦略の策定にあたって、貴市下水道事業の経営のあり方に関して「江南市下水道事業経営戦略策定委員会」のなかで慎重に議論を重ねた結果、本委員会として取りまとめた意見を別紙のとおり提出します。

今後、議論過程で各委員から出された意見を十分踏まえ、下水道事業の持続可能な経営に向けて、着実に事業を推進されるよう要望します。

本委員会は中長期的な経営の基本計画である江南市下水道事業経営戦略を策定するにあたり、幅広く意見を求め、専門的な観点から検討を行うため、江南市下水道事業経営戦略策定委員会として設置されたものである。

貴市の下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等を目的として平成5年度に事業着手（整備開始）し、平成14年度に供用開始して以来、整備を進めてきた。整備の推進にあたっては、事務事業の効率化や人員配置の適正化といった経営の効率化を図りながら行っているものの、下水道施設の整備・維持管理には多額の費用を要することから、財源を一般会計からの繰入金に大きく依存する状況が続いている。また、貴市の一般会計においては、今後、大規模事業が控え、財政運営は一段と厳しくなっていくことが見込まれている。

こうした状況の中で、下水道事業を将来にわたって安定的に続けていくためには、適正かつ計画的に下水道施設の整備・維持管理や今後の更新への対応、事務事業の効率化など、経営基盤強化のための取り組みをより一層推進するとともに、経営に必要な財源を確保することが求められることから、本委員会では投資計画に係る下水道の整備のあり方や財源の確保に関する取り組みについて中心に議論を行った。

議論の中で各委員より出された意見を取りまとめた結果は、以下のとおりである。

1. 下水道の整備のあり方について

貴市の下水道整備は、第6次江南市総合計画に掲げるコンパクト・プラス・ネットワークの考えに基づき、令和元年度には市街化区域を原則とする方針が示されているところであるが、今後の下水道整備にあたっては、将来の人口減少を考慮した規模となるよう下水道施設の適正化を図りながら実施すること。

2. 下水道への加入促進について

下水道事業の収支を改善させるためには、下水道使用料収入を増やす努力をすることが重要であり、そのためには下水道への加入を促進させる取り組みを行わなければならない。

貴市の水洗化率は、下水道の整備途中ということもあるが低い水準であるため、少なくとも全国的な水準となるよう水洗化率向上について積極的に取り組むこと。

3. 下水道使用料のあり方について

貴市の下水道使用料は、適切な水準まで値上げすることが望まれる。理由は以下のとおりである。

- ・地方公営企業は独立採算が基本であり、下水道使用料の改定を通じて下水道の利用者による適正な負担となるよう検討する必要がある。
- ・現在の下水道事業は、主に税金から成る一般会計からの基準外繰入による財源補てんに大きく頼って経営を続けており、下水道区域外の市民にも継続的に財政負担をしていただく状態となってしまうている。加えて、一般会計においては、今後、大規模事業が控え、財政運営は一段と厳しくなっていくことが見込まれており、今後も現在と同程度の基準外繰入に頼り経営を継続することは困難である。
- ・企業債残高が他団体と比較すると高い水準にあり、将来世代の負担が過剰な傾向にあることから、企業債への依存を減らすべきである。

なお、下水道使用料は、値上げによる市民の過度な負担を考慮して、段階的な値上げが望まれる。

また、他団体の使用料水準もある程度考慮したうえで、適正な水準となるよう努める必要がある、下水道使用料を改定する際には、利用者・市民・関係者の方にしっかり説明し理解してもらうとともに、コスト縮減に向けた不断の経営努力が非常に大切である。

以 上